

文化財センター通信

【かざぐるま】

風車 10

平成16年5月6日発行

紀州の歴史と文化の風

〒640-8404 和歌山県和歌山市湊571-1

発行：財団法人 和歌山県文化財センター

Tel : 073 (433) 3843 Fax : 073 (425) 4595



■ 柏原遺跡 弥生時代の方形周溝墓群

主 内 容

巻頭写真

柏原遺跡 弥生時代の方形周溝墓群

1 発掘調査最前線

柏原遺跡の第2次発掘調査

2 旧中筋家住宅の部屋としつらえ②

3 和歌山文化財クロスワード②

4 本年度の主な予定事業

5 お知らせのご案内

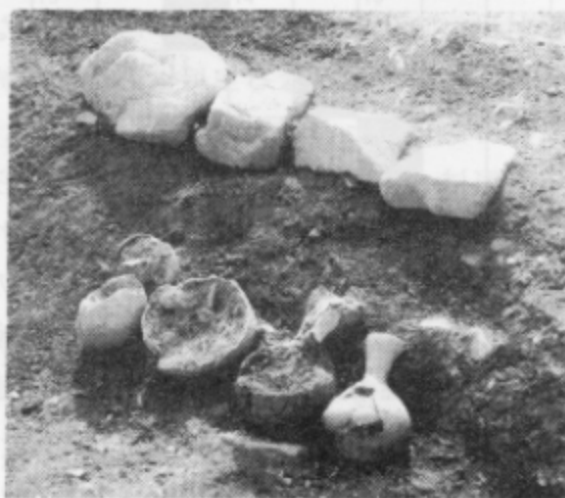
第14回(財)和歌山県文化財センター
速報展「紀州の歩み」

【発掘調査最前線】 柏原遺跡の第2次発掘調査

井石 好裕

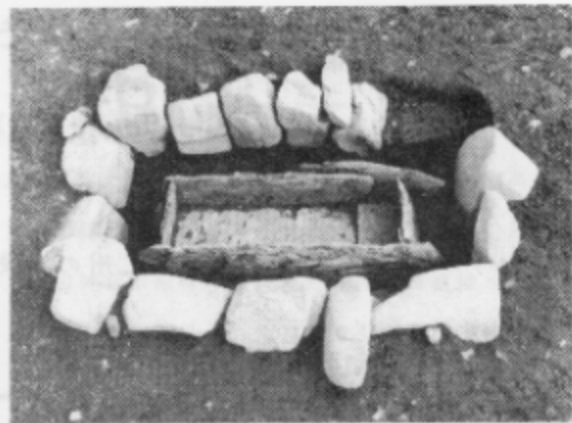
一般国道24号橋本道路(京奈和自動車道)の建設工事に伴って、橋本市の柏原遺跡で平成14年度から発掘調査を実施しています。これまでの調査で様々な時代の遺物や遺構が見つっています。

遺物には縄紋・弥生・飛鳥・奈良・鎌倉・江戸の各時代のものが出土していますが、この内、量の最も多いのは弥生時代中期の土器です。この中には、大阪府の河内地方で作られたと考えられる土器が多く含まれていました。また、石包丁や石鏃などの石器も出土しています。その他、第9号の巻頭写真で既に紹介しています土偶なども見つっています。



■ 柏原遺跡 周溝内の弥生土器出土状況

遺構には、弥生時代の竪穴住居・土坑・方形周溝墓、飛鳥時代の土壙墓・竪穴式石槨、鎌倉時代の掘立柱建物、江戸時代の土坑などがあります。方形周溝墓とは、弥生時代の前期から古墳時代の始めにかけて作られた墓の一種です。正方形や長方形の形に溝を掘った後、その内側に盛土を行い、遺体を埋葬する主体部と呼ばれる穴が掘られます。盛土は、後世に水田や宅地になる際に削り取られ、溝だけが見つかる場合が多く、主体部が残っていない例も少なくありません。柏原遺跡でも、これまでの調査で16~17基の方形周溝墓を確認していますが、主体部が残っていたものは1基もありませんでした。周溝内からは大量の弥生土器が出土していますが、その多くは破片の状態です。しかし、ごくまれに、前頁の写真のように完全に近い形の土器が数個並べられた状態で見つかることもあります。竪穴式石槨は2基が見つっています。共に、約1.5×0.7mの石組の内部に板石を使って箱式石棺を作っています。この内の1基からは、人間のものと思われる歯や骨の他、耳環が2個見つかりました。



■ 柏原遺跡 飛鳥時代の竪穴式石槨

【旧中筋家住宅の部屋としつらえ】②

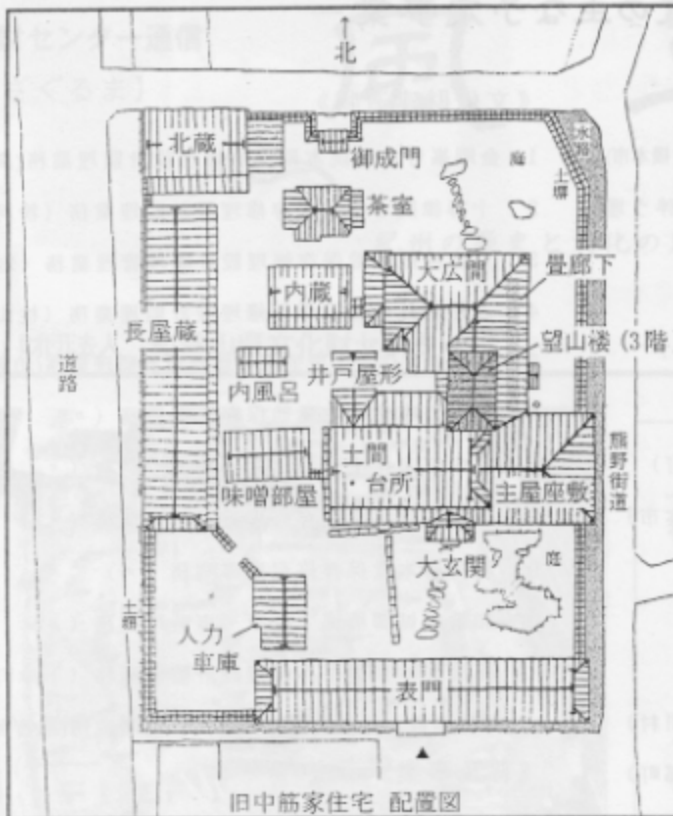
鈴木 徳子

重要文化財旧中筋家住宅保存修理事務所

—江戸時代の大庄屋・中筋家—

『重要文化財 旧中筋家住宅主屋ほか5棟』は、和歌山市の祢宜にあります。土塀と水路に囲まれた敷地内には、表門、主屋、長屋蔵などいくつもの建物が並んでいます。ほとんどが江戸時代末期の建物ですが、茶室など、明治になって建てられたものもあります。この建物群の中心となる主屋は、今から約150年前、江戸末の嘉永5年（1852）に建築され、当時からほとんど変わっていません。

中筋家は、先祖は根来より来たと伝えられ、寛延3年（1750）に和佐組の大庄屋になりました。もとより豪農であったと考えられますが、いろいろな役回り、特に大庄屋という大役についたことで、紀州藩の行政機構の中に組み込まれ、武家格を持つに至ったようです。そのため、中筋家住宅の中には、農家的な面と、武家的な面があります。主屋を見ると、南側は大きな土間を持つ豪農らしい建物となっていますが、北側には幅1間の畳廊下の取り付く20畳敷きの大広間となっています。この大広間は、藩主の訪問を想定して造られたのでしょうか、それにしても珍しいものです。この南北の建物を繋ぐ位置に、居間・納戸（家人の居室）があるのですが、その上は3階建てとなっており、「望山楼」と名付けられています。眺望に優れ、酒宴なども開いていたようです。



※ 旧中筋家住宅の主な建物

- ・主屋（重要文化財）／
式台玄関を構え、別棟の20畳の大広間も併せ持つ。一部に3階座敷を設ける。
- ・表門（重要文化財）／
間口30mに及び、中央にけやき造りの門を構え、出格子を設けた風格のある建物。
- ・長屋蔵（重要文化財）／
桁行30mに及ぶ2階建ての蔵。
- ・北蔵（重要文化財）／
2階建ての米蔵。
- ・御成門（重要文化財）／
賓客が大広間に直接入るための門と考えられる。50mに及ぶ土塀が付随している。

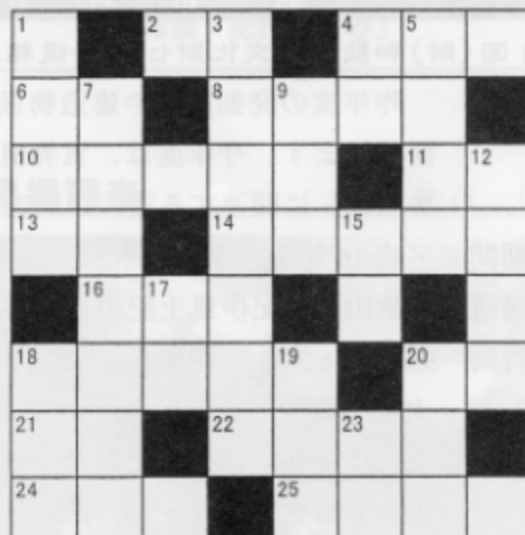
和歌山文化財クロスワード②

縦のカギ

- 1 人や馬が早く走ること。⇔並足
- 3 和歌山市にある特別史跡の古墳群
- 4 神社へ参詣すること。お__参り
- 5 天高く__る秋
- 7 猿も思わず座りたくなるような大きなキノコ
- 9 重い⇔__
- 12 統一新羅と李氏朝鮮の間の王朝
- 15 春夏秋冬。日本には__がある
- 17 食用になる植物。早春に「__のとう」が出る
- 18 シロップをかけたかき__は夏の風物詩
- 19 和室で、障子や襖の上に渡した部分。敷居⇔__
- 20 西国三十三ヶ所霊場第3番札所。__町の__寺
- 23 有馬皇子の万葉歌。家があれば 筥に盛る飯を 草枕 旅にしあれば __の葉に盛る

横のカギ

- 2 和歌山県の旧国名
- 4 神奈川県__半島の鎌倉幕府御家人。__氏
- 6 僧侶が肩からかける法衣
- 8 高野山や熊野三山は__県にある
- 10 熊野参詣道では修行の一環として先達は参詣者をどうさせる？
- 11 不思議な食感のデザート。ナタデ__
- 13 厚い白釉の茶器が多い美濃産の陶器。__焼



- 14 日本で初めて麻酔手術に成功。華岡__
- 16 土を高く盛り、石室等を造った古代の墓
- 18 明石海峡を望む、復原整備された大型前方後円墳
- 20 淡水魚の王様。子供の日には__のぼりが上がる
- 21 明治時代の美術界の第一人者。__倉天心
- 22 鹿や山羊に似ているが、牛科の特別天然記念物
- 24 数学・物理・科学など。文系⇔__
- 25 間違いの理由を説明すること。弁解

—本年度の主な予定事業—

《埋蔵文化財》

1. 京奈和自動車道橋本道路建設に伴う柏原遺跡発掘調査(橋本市)
2. 国指定史跡高野町石電線類地下埋設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査(高野町)
3. 岩橋高柳遺跡発掘調査(和歌山市)
4. 岩橋千塚古墳群保存修理事業(和歌山市)
5. 野上中南遺跡発掘調査(海南市)
6. 古川本線改修関連梅田遺跡発掘調査(南部町)
7. 京奈和自動車道関連遺跡出土遺物整理(橋本市)
8. 山口・川辺遺跡出土遺物整理(和歌山市)
9. 田屋遺跡出土遺物整理(和歌山市)
10. 橋見遺跡出土遺物整理(和歌山市)
11. 徳蔵地区遺跡出土遺物整理(南部町・南部川村)
12. 高田土居城跡・大塚遺跡出土遺物整理(南部町)
13. 平成16年度全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会

《文化財建造物》

1. 金剛峯寺山王院本殿保存修理設計監理業務(高野町)
2. 十禅律院本堂他保存修理設計監理業務(粉河町)
3. 荒田神社本殿保存修理設計監理管理業務(岩出町)
4. 三船神社本殿他保存修理設計監理業務(桃山町)
5. 旧中筋家住宅主屋他保存修理設計監理業務(和歌山市)
6. 旧中筋家住宅主屋他保存修理業務(*)
7. 旧中筋家住宅未指定建造物調査業務(*)
8. 阿弥陀寺本堂保存修理設計監理業務(*)
9. 総持寺本堂保存修理指導業務(*)
10. 和歌山城御橋廊下復原工事監理業務(*)
11. 福勝寺本堂他保存修理設計監理業務(下津町)
12. 熊野那智大社社殿保存修理設計監理業務(那智勝浦町)

《普及事業》

1. 第14回速報展「紀州の歩み」

お知らせとご案内

第14回(財)和歌山県文化財センター速報展「紀州の歩み」(共催:県立紀伊風土記の丘)

内容 昨年度の発掘調査や建造物保存修理の成果を展示する速報展「紀州の歩み」を開催します。今年度は、世界遺産登録が秒読み段階に入った「紀伊山地の霊場と参詣道」に関連する過去の調査成果も合わせて紹介します。

開催期間 平成16年7月1日(木)～16年9月23日(木)

開催場所 和歌山県立紀伊風土記の丘資料館(和歌山市岩橋1411)

開館時間 9:00～16:30 閉館日 7/5・12・20・26 8/2・9・16・23・30 9/6・13・21

入館料 大人170円/大学生80円(各種割引制度あり)

問い合わせ先 財団法人和歌山県文化財センター TEL 073-433-3843

和歌山県立紀伊風土記の丘 TEL 073-471-6123

関連行事【公開講座】 会場:紀伊風土記の丘資料館研修室 先着40名

第1回 7月24日(土) 13:00～ 黒石哲夫「川関遺跡・藤倉城の発掘調査(仮)」

14:00～ 多井忠嗣「熊野那智大社の建物と保存修理(仮)」

第2回 8月21日(土) 13:00～ 村田 弘「高野山で出土する各地の焼き物(仮)」

14:00～ 鳴海祥博「国宝金剛峯寺不動堂の謎(仮)」

《編集後記:新緑の美しい季節になりました。1ヶ月くらい休んで、熊野詣に出かけたい気分です。(丹野)》